

施 策：	05 農林業の振興	財務コード	01050104-17-00
基本事業：	02 農業生産基盤の整備・保全	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	地域により保全されている農地面積 条件不利地域の農地支援面積 農業生産施設・設備等に対する支援件数（計画期間内累計） 農道、農業用水路の整備延長（計画期間内累計）	担当課	農政課
		担当係	農政担当



計画年度	平成21年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画						
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）												
市内に居住するJA筑紫ふれあい市出荷者及び筑紫農協生産部会員	<p>対象者が設置するパイプハウス（1棟50m²以上）本体の資材に対する補助金を交付する。</p> <p>補助単価 50m²以上100m²未満：60,000円 × 設置面積 / 100m² (円未満切捨て) 100m²以上200m²未満：60,000円（定額） 200m²以上：100,000円（定額）</p> <p>令和2年度実績 申請件数：1件、補助金額：100,000円</p>												
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）													
パイプハウス栽培で野菜生産の効率が向上し、筑紫農協直販所等への出荷が確保されている。													
4. 成果（簡易評価は未記入）													
成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標					
JA筑紫ふれあい市 出荷総額	千円	387,045	418,085	420,000	430,000			450,000					
補助により設置した出荷者の出荷額	千円	54,854	61,254	62,000	64,000			70,000					
5. コスト													
事業費	計	千円	0	100	200	100							
	国	千円	0	0	0	0							
	県	千円	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0	0							
	一般	千円	0	100	200	100							
正職員人工数	人工	0.05	0.05	0.05	0.05								
正職員人件費	千円	403	401	396									
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	403	501	596	100								
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）													
あがっている	<状況> 出荷額、補助により設置した出荷者の出荷額、共に増加している。												
どちらかといえばあがっている	<原因> コロナウイルス感染症の影響で家庭における野菜の需要が増加したこと、補助対象者の生産体制が安定したことなどが要因と思われる。												
あがっていない（停滞・低下）	<課題> 更なる出荷額の増加のため、JA筑紫から助言を受け、高収益作物の作付を誘導する必要がある。												
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）													
対象動向	維持	類似事業	なし	補助事業の対象となる規模のパイプハウス設置の需要が低下している。 。									
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり										
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし										
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし										
成果向上余地	中程度												
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）													
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持 / 事業終了の場合は記入する必要なし）													
本事業の対象となるパイプハウスの設置の需要が低下しているため、将来的な廃止も含めた検討を行う。													
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 o r 進行管理欄												
筑紫農協では管内に農産物直販所を展開しているが、地元農産物の供給が不足しており、パイプハウス設置を支援することにより供給量の拡大を図る。													